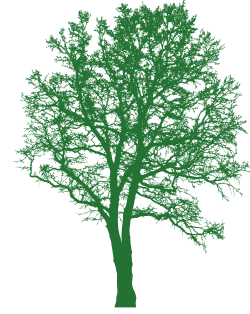


POLITICS



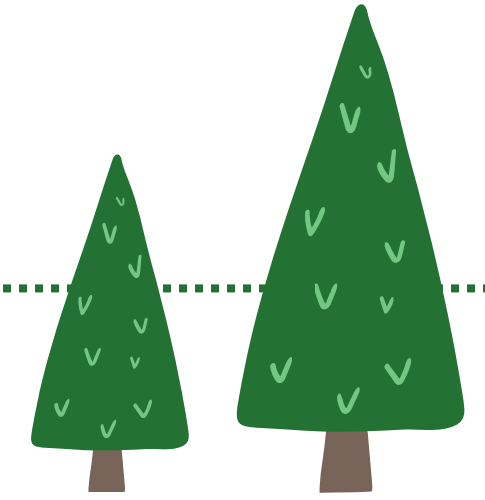
とよなかLAB

～ オール豊中で夢ある未来を！ ～

世代の垣根を超えた「挑戦」を豊中の資源を用いて応援する「共感」の仕組みづくり



目次



- 01 豊中市の現状と思い描く姿
- 02 とよなかLABとは？
- 03 とよなかLAB実現に向けたSTEP
- 04 とよなかLABがあるまち「豊中」
- 05 とよなかLABで創出される豊中市の未来図

Table of Contents

01

豊中市の現状と 思い描く豊中市の姿



成熟したまち

優良な住宅地としての大衆イメージだけでなく、各種統計データも示す通り、素晴らしいまち



* 【世間の評価】

優良住宅地としての世間の評判

参考:TV大阪“関西198全市町村から選んだ！住みたい街ランキング2019”1位

参考：SUUMO“住みたい街ランキング2022 関西版～住みたい自治体1位は？～” 8位

* 【主観的評価】

住民アンケートでもまちの満足度は高評価

参考：総合満足度 6.5点（平均値6.0点） SUGATAMI指標※NTTの都市可視化ツール

参考：総合幸福度 7.0点（平均値6.5点）LWCI指標※社団法人SCIJの都市可視化ツール

とはいえ、 潜在的な課題も

素晴らしい街ではあるが、
潜在的な課題が点在しており
はやめに対処が必要



< 潜在的な諸課題 >

* 高齢化(全国課題)に伴いサービス需要増大(介護等)

参考:医療・介護ニーズが高まる 85 歳以上人口は 2035 年までは1.8倍に増加する一方で、総人口/生産年齢人口は5%以上の減少予想 (豊中市まち・ひと・しごと創生ビジョンより引用)

* 転勤族(豊中独自課題)数に起因して、住民と地域との関係性が薄いという仮説も存在

参考:1724の自治体中、全国221位の世帯増減率ながら、転入者数・転出者数は全国50位前後と人の入れ替わりが激しい(総務省統計局より引用)

参考:豊中市地域連携課、都市計画課の方々へのインタビュー

多様な課題に 少ないリソースで 対応を迫られる

課題はますます複雑化し、リソースが縮小していく中で、いま以上に課題解決が困難に。今後も豊中が素晴らしい街であり続けられるか不安を示すデータも存在

• 課題の多様化：


今後は経済・子育てだけでなく、環境/防災/エネルギー/持続可能な都市づくり実現に取り組む必要が発生し、既存の自治体リソースだけではジャンルが多岐に渡りすぎて運営が困難

• 行政・まちづくり組織のリソースの限界：

少子高齢化に伴い税収が落ち込んだ際、今後は自治体に対して更なる経費削減・人員縮小が求められる可能性が存在し、リソースに懸念



思い描く豊中の姿



多種多様な課題の中、限られたリソースで、
持続可能で素晴らしいまちでありつづけるには？



市民1人1人が主人公となり、オール豊中で
課題解決に取り組めるまちをめざす



われわれの施策
「とよなかLAB」

とよなかの
現状・課題



夢あるまち
「とよなか」に

02

私たちが考える
「とよなかLAB」とは？



とよなかLAB

〈施策概要〉

- ・ 既存の施策、事業同士をつなげて様々なオール豊中の資源（ヒト・モノ・カネ・バシヨ）を結集し、イノベーションを起こして未来を創造する
- ・ パッケージ型プラットフォーム

ターゲット

- ・ 課題解決してみたい市民
- ・ 誰かの活動を応援したい市民
- ・ 社会貢献活動や地域に根付いた活動をしたい事業者
- ・ 「民」と協働したい行政



拠点型



出張型



オンライン



- ・とよなかLABは、上記の3つの形態を想定
- ・この3つを有機的に連動させ、挑戦・共感の仕組みづくり
- ・オール豊中の資源の循環：ヒト・モノ・カネ・バシヨ
- ・資源循環・共感のプラットフォーム



アクションを発表し、共感を得る場



出張型

- ①提案プロジェクトの募集（アイデアやテーマ募集）
 - ②とよなかLAB開催
 - (ア) プレゼンタイム
 - (イ) コメント（褒める＋意見/アイデア）
 - (ウ) 対話の時間を通じて共感や賛同を得る
 - (エ) 資源のマッチング
 - ③対話から生み出された共感や賛同を実行＆伴走支援
- ★プロジェクトの途中報告や実現報告の場としても利用

ふらっと寄れる心の寄りどころ



拠点型

- ①とよなかLABの運営事務局拠点
- ②伴走者がいる拠点としての機能
- ③いつでも相談ができる
- ④資源の見える化や整理を行い市民に公開

- ★ここにいけば相談できる人がいるという安心感
- ★ミーティングや作業等の場所提供

市民が気軽に関われる、広報の場



- ①プロジェクトの進行
ロードマップによる進捗管理（実現までの期間を明示）
 - ②プロジェクトの情報発信機能
豊中に関わる様々な情報をひとまとめに
 - ③資源のマッチング機能
資源の集約・マッチング
 - ④市民の意見交換
ステークホルダー・市民が気軽に繋がれる場
- ★24時間365日、発言やコミュニティができる
★ネット環境さえあれば、誰でも気軽にアクセスが可能

オンライン



03

とよなかLAB 実現に向けたSTEP



STEP1：チャレンジしたい市民の発掘/意識醸成/啓蒙活動

<マインド醸成>

広報誌やWEB、各種事業の講演枠等ですでに活動や事業をされている方の情報発信を実施

→豊中市民に対して自己実現の意識醸成を実施

<発信できる場の提供>

「なにか始めたい」と感じた方が情報を発信したり、市民と繋がれる場所を提供

→気軽に利用できるように、既存サービス等を活用

今後のとよなかLAB運営の下準備として、地域資源の見える化



STEP2：とよなかLAB100人会議



起業家・専門家・NPO職員・大学生など
様々な人が一同に会せる創造の場所
それぞれの強みを生かし技術支援するだけでなく
情報交換の場所としても機能する。

↑

まずは「とよなかLAB」の創出をテーマに議論
公民協働でつくりあげていく

STEP3：とよなかLABの創出

100人会議によって生み出された本当に豊中に必要な「とよなかLAB」の誕生

拠点型



出張型



オンライン



新たな形

とよなかLABがあるまち「豊中」

～豊中らしさを紡ぎ続ける独自の仕組み&オール豊中～

04



アイデア・行動 →共感&課題解決

- 想いがつながりを生む
- 人を巻き込み発展させる
- 理想も課題も共有
- 私たちが描く未来へ

誰もが 夢を描ける街へ

- 互いに尊重しあう
- 挑戦が育まれる環境を！
- 夢がカタチに！
- 応援が豊中の文化に！

夢ある未来を描き
現状を変革する



次の世代へ
バトンを託す



大切なものを
パートナーシップで
守りつづける

挑戦が芽吹き・ 育まれ・花開く仕組み

- 市民・団体・事業者の「やりたい！」を支える土壌を！
- あらゆる資源が有機的につながる仕組み

縦割りや横串ではない 新たな仕組み

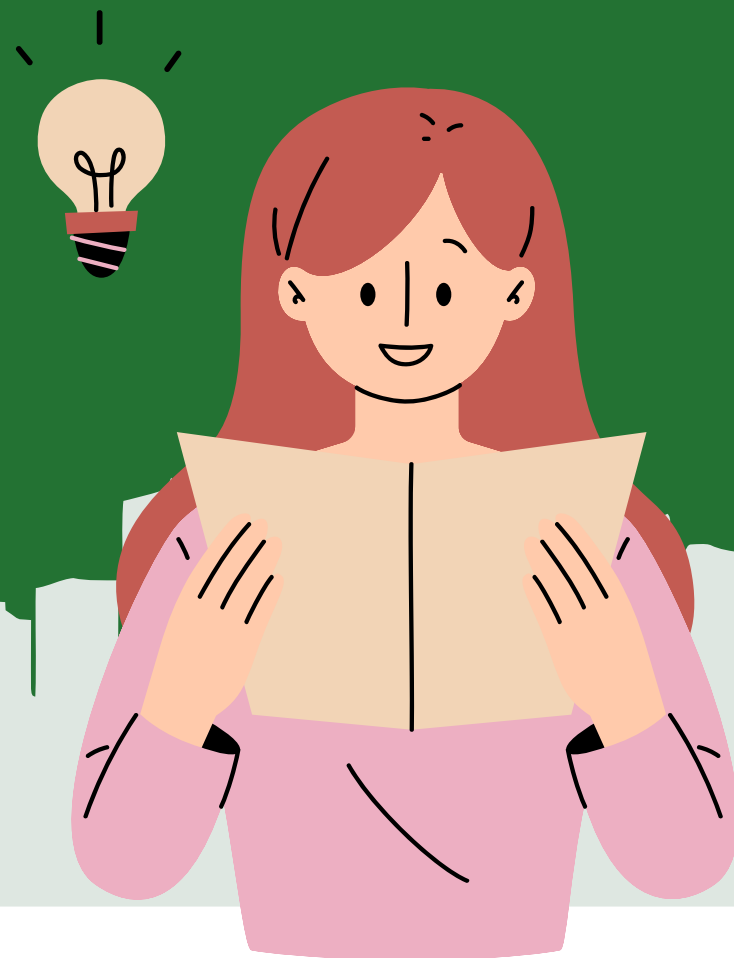
- ひとりの市民の思い、行動が豊中全体をそして社会を変革！
- 豊かなつながりが育まれ優しさと笑顔で溢れるまちが生まれる

パートナーシップで 未来を創造する仕組み

- 既存の仕組み・資源を最大限に活用
- 持続可能な取り組みへとつなげていく

とよなかLABで創出される 豊中市の未来図

05



オール豊中で未来を創造

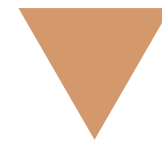
現状

- 課題の多様化により既存の自治体リソースでは運営が困難
- 市民活動や起業など、分野別で各種支援を実施
- それぞれの活動が孤立しており、広報や周知の面で課題

オール豊中で未来を創造

現状

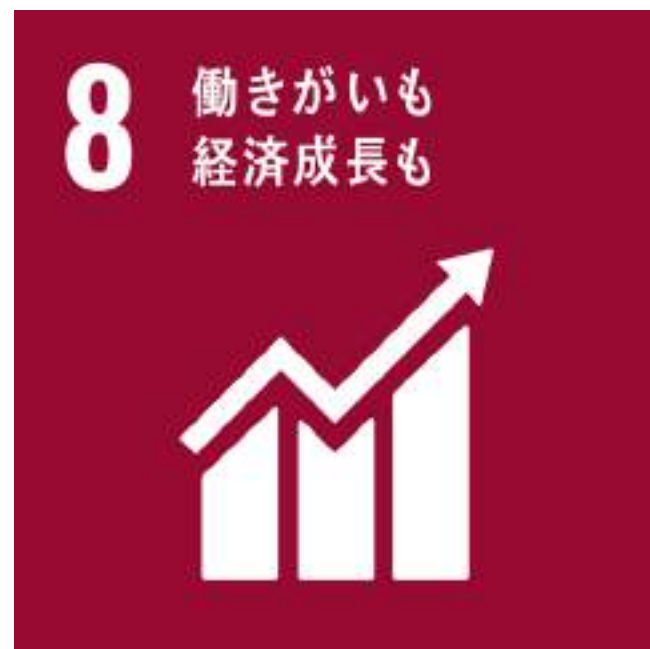
- 課題の多様化により既存の自治体リソースでは運営が困難
- 市民活動や起業など、分野別で各種支援を実施
- それぞれの活動が孤立しており、広報や周知の面で課題



とよなかLAB

様々な分野に関わるステークホルダーを巻き込むことが可能

- ① 様々な価値観やスキルを持つ関係人口の増大や組織の連携
- ② 情報に触れやすくなり、「やりたい」が実現しやすくなる
- ③ 資源の見える化により、「公」に加え、「民」も含めた多様な資源の活用
- ④ 新規事業創出において、大手企業はもちろん、豊中市内の中小企業へも影響



ECONOMY

- ◆資源の見える化による
各種資源の有効活用
- ◆コスト削減・収益確保
- ◆地方創生に対するやりがいの創出



SOCIETY

- ◆家族・学校・職場などの
コミュニティを超えた
多様な出会い・繋がり
の創出
- ◆地域意識を持った市民の増大



ENVIRONMENT

- ◆とよなかLABの仕組みの中で
環境に関する活動や事業の展開

とよなかLAB のプラットフォームの中で、

オール豊中の様々な資源（ヒト・モノ・カネ・バシヨ）を
循環させ、巻き込みながら、市民の「やりたい」を実現。

とよなかLAB のプラットフォームの中で、

オール豊中の様々な資源（ヒト・モノ・カネ・バシヨ）を
循環させ、巻き込みながら、市民の「やりたい」を実現。

世代の垣根を超えた「挑戦」を豊中の資源を用いて
応援する「共感」が生まれる。

とよなかLAB のプラットフォームの中で、

オール豊中の様々な資源（ヒト・モノ・カネ・バシヨ）を循環させ、巻き込みながら、市民の「やりたい」を実現。

世代の垣根を超えた「挑戦」を豊中の資源を用いて応援する「共感」が生まれる。

そして、オール豊中で未来を創造し、パートナーシップで価値創造・課題解決に取り組めるまち「とよなか」へ。

THANK YOU!

ありがとうございました